

1. 第9回千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WGの進め方

第8回 千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討ワーキングにおける今後の進め方の確認(H30.3.13)

- 国道14号、16号、357号について、引き続き周辺の交通状況を調査、分析することが必要。 → **【現状の交通分析】**
- 過去の交通発達状況や道路整備状況を調査した上で、湾岸地域の各路線の役割を整理。 → **【整備状況と各路線の役割】**
- 湾岸地域のポテンシャルを十分に発揮させるため、規格の高い道路の必要性等についても検討し、計画を策定。
→ **【現状の課題から先行して検討する機能軸を確認】**



第9回 千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WGの進め方

【現状の交通分析】

→外環(三郷南IC^{みさとみなみ}~高谷JCT^{こうや})開通後の湾岸地域(国道14号、16号、357号)の交通状況を確認

【整備状況と各路線の役割】

→湾岸地域の実施中の事業を整理し、ETC2.0による各路線のOD分析

【現状の課題から先行して検討する機能軸を確認】

→湾岸地域の交通状況、路線の利用特性、開発状況、断面交通量
などから規格の高い道路の必要性について整理

→先行して検討すべき機能軸を確認



※出典:第8回千葉県湾岸地域渋滞ボトルネック検討WG(29p)